

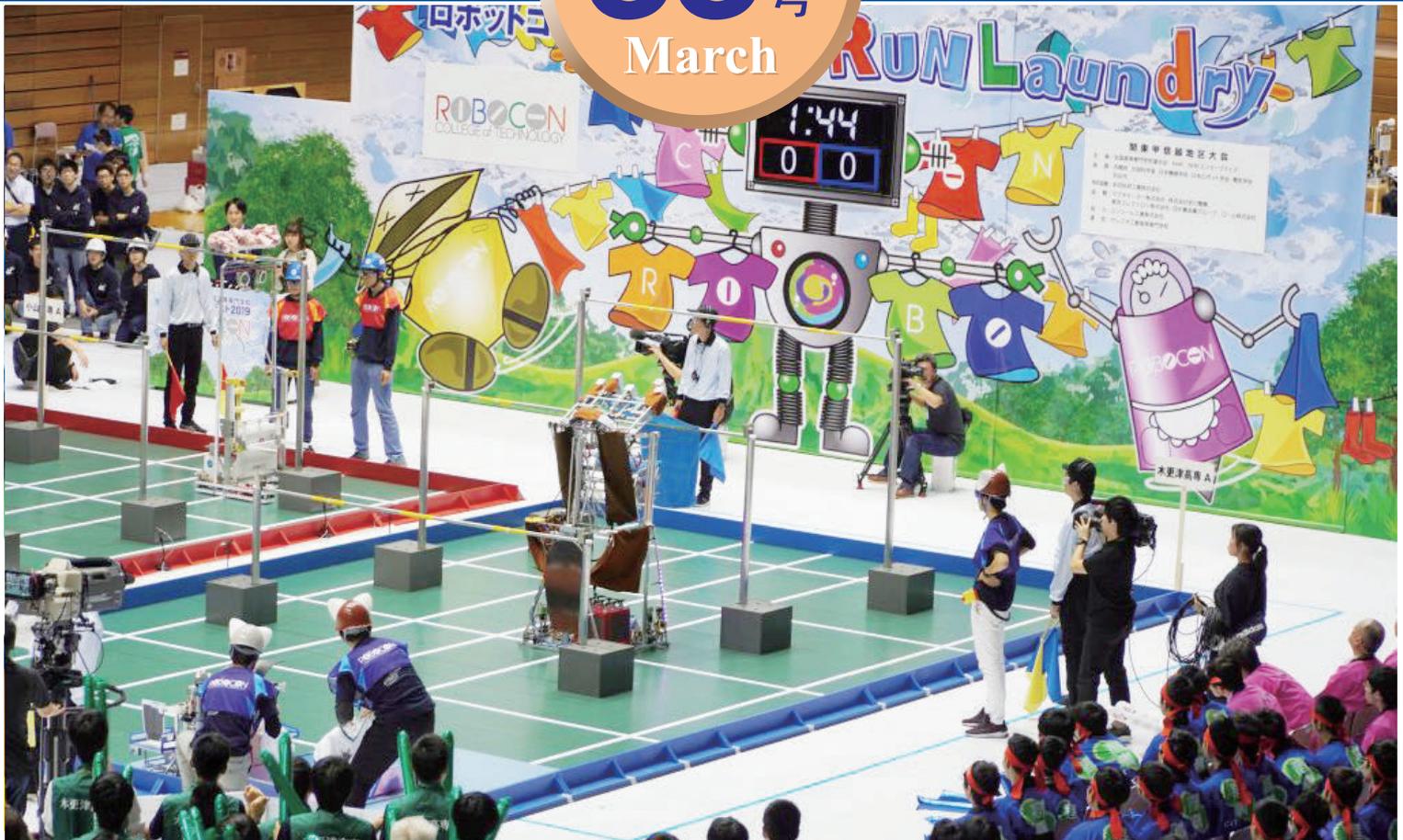


# 木更津高専だより

2020

88号

March



## Contents

校長挨拶 .....	1
主事、専攻科長挨拶 .....	2~3
地域共同テクノセンターの活動報告 .....	4
国際交流状況 .....	5
高専文化発表会・ロボコン(地区大会)・プロコン(全国大会).....	6
学園祭(祇園祭)・学生の特別表彰者一覧 .....	7
情報セキュリティ教育の取組み .....	8
4年生見学旅行 .....	9~10
お知らせ .....	11

## 校長 佐久間 研二



卒業生・修了生の皆さん、ご卒業・修了おめでとうございます。また、ご家族の皆様にも心よりお慶び申し上げます。卒業生・修了生の皆さんは、5年間あるいは7年間、木更津高専において、学業・クラブ活動・寮での生活・各種コンテスト等を通じて、多くの事を学び、多くの友人を作り充実した学生生活を送られたことでしょう。この思い出、自信を胸に新たな一步を踏み出してください。

木更津高専は、成田・羽田両空港からのアクセスの良さから、全国の高専の中でも国際化推進の拠点となることが期待されています。モンゴルやタイの高専の支援校としてこれまでも様々な協力を行ってきました。

昨今の高専教育への評価の高まりから、高専への予算措置が増大しています。これまでは、高専教育は産業界等から高く評価されているにも関わらず、特に法人化以降、予算は年々自動的に削減され、教職員数も削減される等厳しい状況が続いていました。しかし、令和元年度補正予算において、国際寮の新設のための予算が計上されるとともに、令和2年度当初予算において老朽化著しい雄峰寮の改修予算が措置されることになりました。

これら施設面での充実を契機に、本校の強みである国際化の一層の推進、千葉県だけでなく東京都、神奈川県など幅広いエリアからの志願者の増加に取り組みたいと思います。

併せて、英語教育の充実、第二外国語(ドイツ語、中国語)の履修の在り方の見直しなど、カリキュラム改革も推進していきます。

卒業生・修了生の皆さんが、それぞれの進路において、その力をいかに発揮し、高専卒業生のレベルの高さを社会に示し、高専教育の重要性が認知され、木更津高専が益々発展していければと思います。

皆さんのこれからの活躍と輝かしい未来を心より祈念しています。

## 教務主事 内田 洋彰(機械工学科 教授)

卒業生・修了生のみなさん、ご卒業・修了おめでとうございます。4月からは新しい生活が始まります。2018年に時の首相が表明した「70歳までの雇用」、50年あります。博報堂がHPで発表している未来年表で30年後のトピックスには、2050年「拡張現実(AR)メガネが、スマートフォンに代わる」というのが一つあります。君たちが授業中に操作に集中し、生活するのになくてはならない物が30年後にはなくなる(入力と出力の関係を処理する物の形態が変わるだけですが)と予想されています。このような急速に技術革新が進む時代にどのように今後の人生を歩むのか？土台となるのは高専で学んだ基礎的な力です。この基礎的な力をさらに伸ばして時代の変化にも対応できる力を身につけてください。具体的な力として、逃げたくなるような困難に立ち向かって乗り越える力があります。これからの人生には困難が多く立ち足かることでしょう。

最後に、将棋棋士で、日本将棋連盟の新手、妙手を指した棋士に送られる升田幸三賞の名前の由来となっている第四代将棋名人の升田幸三棋士の言葉を贈ります。「一人前になるには50年はかかるんだ。功を焦るな。悲観するな。もっと根を深く張るんだ。根を深く張れ。」



## 学生主事 鈴木 道治(基礎学系 教授)

修了生、卒業生のみなさん、修了、卒業おめでとうございます。

就職する人、進学する人それぞれですが、いずれにせよこれから厳しい現実に向かわなければならないのは避けられない現実です。

高専で学んだことはほんのさわりで、本当に学ぶべきことは何かを知る場面、また今の力では到底太刀打ちできない場面も多いことでしょう。そしてもっと勉強しておけばよかったと思うのも間違いなことだと思います。

しかしそれは誰でも通る道。くよくよすることなく、ここからがスタートだという気持ちで対峙すればいいと思います。

一方、現在のような混沌とした社会・世界だからこそ、面白いこともあちこちに転がっていることと思います。それを拾って磨きをかけ、いいものに仕上げることができるかどうかはあなたがた次第。1つのヒントとして、一人では成し遂げることは難しいけれど何人かで協働して行けばものになるのではないのでしょうか。

ところで最近のメディアで高専を取り上げることが多くなりました。日本の社会はもちろん、世界中が高専生の力を欲しています。机上の勉強だけでは得られない現場のニーズを受け止め、常に学ぶことを怠らず、活躍されることを期待しています。そして母校にその自慢話をしに来てくれたら嬉しいです。



## 寮務主事 清野 哲也(人文学系 教授)

卒業生・修了生の皆さん、ご卒業・修了おめでとうございます。また、ご家族の皆様にも心よりお祝い申し上げます。

皆さんにとって、高専での5年、もしくは7年という期間はどのようなものだったでしょうか。勉学、課外活動、独自に取り組んだ事柄など、強く印象に残るものがそれぞれにあると思います。そして、そこでは相応の努力や苦勞を伴ったはずであり、費やしたエネルギーが大きいほど自身の成長を促してくれたものと思います。また、取り組んだ過程自体が貴重な経験として自身の財産となったことでしょう。

さて、学業面で一つのけじめがつくこの機会に、「飲水思源」という言葉に触れてほしいと思います。「飲水思源」は、物事の基本を忘れないという戒めの語、また、他人から受けた恩を忘れてはいけないという戒めの語とされます。自分の周りの協力や支援、恵まれた環境の大切さを忘れないようにしたいものです。

最後に、イチロー元プロ野球選手のことばを贈ります。「小さいことを積み重ねることが、とんでもないところに行くただひとつの道だ。」見方を変えれば、壁にぶつかったら、基本に立ち返ることが重要だ、とも考えることができそうです。皆さんの今後の大いなる飛躍を期待しています。



## 専攻科長 上村 繁樹(環境都市工学科 教授)

本科卒業生、専攻科修了生のみなさん、ご卒業・修了おめでとうございます。また、卒業生、修了生のご家族の皆様にも心よりお祝い申し上げます。本年度は、平成から令和に変わる年でした。皆さんは、令和最初の卒業生・修了生となるわけです。

今年度をもって専攻科長の役を退くことになりました。就任時には、専攻科修了生の皆さんにもご迷惑をかけたこともあったでしょう。今回、このように皆さんへのご挨拶をまとめておきますと、就任当時の頃の思い出が少しずつ蘇ってまいります。

卒業生・修了生の皆さんは、高専在学中に様々な出来事があったことと思います。講義や実験・実習で学んだこと、体育祭やスポーツデーで頑張ったこと、研究で苦勞したことや学会での研究成果の発表など、多くの経験をされたでしょう。今年度は、大きな台風が千葉県を襲いましたが、被害にあわれた方々はもう大丈夫でしょうか？

どうかご卒業・修了されても木更津高専での経験や、出会った友人、教職員など沢山の人のことも思い出して下さい。きっと皆さんの宝物になると思います。

皆さんの明るい未来に向けて、今後のご健闘とご活躍をお祈りいたします。



### 地域共同テクノセンター長 鈴木 聡(電子制御工学科 教授)

今年度の地域共同テクノセンターの主な活動を、4月から順に報告いたします。

まず、4月23日(火)に技術振興交流会役員会を開催し、ここでの審議結果を受けて5月28日(火)に定期総会を開き、今年度の事業案および予算案が認められました。

7月4日(木)に開催された千葉市産業振興財団主催の産学合同技術シーズ交流会において、本校から電気電子工学科の浅野先生、電子制御工学科の坂元先生、ならびに情報工学科の栗本、大枝両先生がAI・IoTに関する研究成果発表を行いました。

8月10日(土)には、技術振興交流会の助成によりキッズ・サイエンス・フェスティバルを開催しました。本校教職員による10の講座に加え、(有)光精工様の「こどもコマ大戦」と(株)トレス環境システム様の「とことん分解してみよう!」、および(一社)prane.jp様の「片手でプログラミング」の特別企画が開かれました。さらに、ロボット研究同好会のロボットの展示・操作体験、技術振興交流会や商工会、商工会議所の活動を紹介するブースを設けました。330名の参加者があり、アンケートでの満足度は96%と高く大好評でした。

10月29日(火)に第31回テクノフォーラムを開催し、八田修一氏をお招きして「台湾の水と八田與一」と題してお祖父様に関するご講演をいただきました。また、本校情報工学科の大枝先生より技術振興交流会助成金による共同研究の成果報告が行われました。

11月13日(水)から3日間にわたり開催されたテクノトランスファー inかわさきに電気電子工学科の大野、浅野、柏木の3名の先生方が出展しました。天候に恵まれ、多くの来場者で盛況でした。本校のOBの来場もありました。

11月17日(日)には、木更津市民会館中ホールと市民体育館で行われた生涯学習フェスティバルにおいて、本校からは電子制御工学科の沢口先生、情報工学科の齋藤先生、環境都市工学科の原田先生が参加して体験工作教室を開催しました。

年が変わり1月28日(火)には第32回テクノフォーラムおよびCOC+シンポジウムを同時開催しました。テクノフォーラムでは、本校情報工学科の栗本先生に「サイバネティクス人材育成」というテーマで講演をしてもらいました。また、COC+では、(株)ソード代表取締役社長の荒木均氏と千葉市動物公園園長の鎬木一誠氏に「株式会社ソードの歴史・事業および千葉市動物公園のIT化実証実験」と題してご講演いただきました。



## 国際交流センター長 SAPKOTA ACHYUT (情報工学科 准教授)

国際交流センターでは、「海外教育機関との連携(協定締結や交流の実施)」、「学生の海外研修の企画立案」、「留学生への支援」などを行っており、さまざまな国際交流が実現できる場を用意しています。令和元年度の主な取り組みとしては、下表のとおり学生派遣・受入などを実施しました。

### 【学生派遣】

派遣期間	事業名/派遣先	派遣学生(敬称略)
8/10~ 9/ 1	PASCHプログラム-ドイツ語青少年コース- /ビルクレホーフ(ドイツ)	(E4)村越遼太(C4)伊藤真歩
8/12~ 9/ 6	台湾短期研修【令和元年度第1期】 /国立聯合大学(台湾)	(J5)谷嶋成美(C4)新井悠海
8/26~ 9/20	インターンシップ/ナンヤンポリテクニク(シンガポール)	(M4)木下洋平、年代朋生、 村田善彦、茂呂征弥
8/26~ 9/20	インターンシップ/リパブリックポリテクニク(シンガポール)	(M4)岡田陽平 (E4)高橋正弥、菱川康平 (J4)一色真由香、中島唯
10/17~10/21	PASCH 東アジア共同プロジェクト / Goethe-Institut Seoul(韓国)	(E5)齋藤望結 (D5)大場翔太、眞角晏奈
12/ 8~12/20	冬季ドイツ研修 /ハインリヒ・ヘルツ・ベルーフスコレーク(ドイツ)	(E5)齋藤望結 (C5)井村泰斗、吉田ありさ (M4)木下洋平(E4)藤野聖也 (D4)犬塚和里(J4)伊藤直樹 (C4)三浦初音(M3)清水峻平

### 【学生受入】短期留学生(特別聴講学生)

派遣期間	事業名/受入の相手方	受入人数
7/ 2~ 7/18	国立聯合大学(台湾)	学生1名
9/22~ 9/29	ハインリヒ・ ヘルツ・ベルーフスコレーク(ドイツ)	学生7名
10/ 1~12/20	ナンヤンポリテクニク (シンガポール)	学生4名
10/ 1~ 2/21	リパブリックポリテクニク (シンガポール)	学生3名
12/15~12/20	スルタン・アラムシャー校(マレーシア)	学生4名

### 【各種行事】

4/23	さくらサイエンスプラン・ ハイスクールプログラム受入 (インド・メキシコ高校生約40名)
12/ 2 ~ 12/ 6	モンゴル3高専支援校冬季教員研修受入
12/18 ~ 12/19	効果的な工学教育に関する 国際ワークショップ(IWEEE 2019) ポスター出展数:72件



## 高専文化発表会

### 高専文化発表会指導教員 伊藤 裕一(機械工学科 准教授)

2019年8月24日(土)および25日(日)に、小山市立文化センター(主管校:小山高専)で開催された「第43回 関東信越地区文化発表会」に木更津高専からは8団体が参加しました。

日ごろの研鑽の成果を発表・報告すること、他高専の同志たちと深い交流をすること、全てのことが参加した学生さん達にとって大きな刺激となったと思います。

期を同じくして、各高専の学友会・学生会のメンバーも集まり、今後の文化発表会をどのように運営し、そして盛り上げていくか、を検討する会合を開きました。「縁の下の力持ち」の献身的な活動に心を打たれました。

本校では、学業の習得のみならず、人間形成や創造力の涵養も教育目標の一部として挙げておりますが、高専文化発表会は、その絶好の機会になったと思います。

来年度の文化発表会は開催しないことが決まっているようですが、再来年、さらに成長した姿を見せてくれることを願っています。

## ロボコン(地区大会)

### ロボコン指導教員 坂元 周作(電子制御工学科 准教授)

2019年10月6日(日)に町田市立総合体育館にて高専ロボコン2019関東甲信越大会が開催され、木更津高専からはAチーム「Made in 木更Zoo!!」とBチーム「ネコトパス」が参加しました。

2019年の高専ロボコンのルールは「らん♪RUN Laundry」。フィールド内に設置された物干し竿にTシャツやタオル、シーツといった洗濯物を干すことで点数や「干したものの美しさ」を競う競技でした。

Aチームは自動ロボットがタオルとシーツを美しく干すことにこだわり、Bチームは洗濯物を物干し竿に打ち出すアイデアを実現させるために、両チームとも日々製作と練習を行い、大会に臨みました。

結果は両チームともリーグ戦が1勝1敗の成績となり、予選敗退となりました。しかし、Aチームは審査員特別賞を受賞し、Bチームはエキシビションで本来やりたかったパフォーマンスを見せることができました。今後の活躍に期待したいと思います。



Aチーム



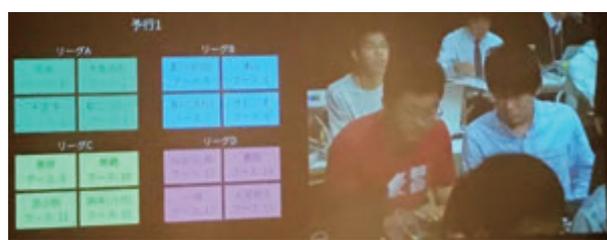
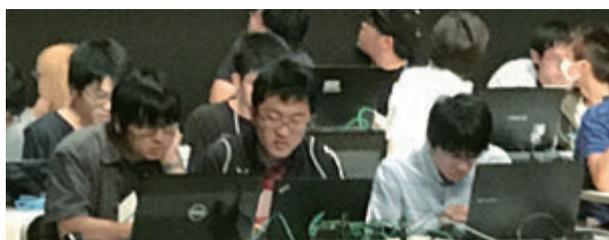
Bチーム

## プロコン(全国大会)

### プロコン指導教員 SAPKOTA ACHYUT(情報工学科 准教授)

「第30回全国高等専門学校プログラミングコンテスト」に本校から、「競技」部門へ1チームが参加しました。競技部門のテーマは、「マス目に区切られたフィールド上で、いかに多くの陣地を占有できるかを競う陣取りゲーム」でした。

残念ながら受賞には至りませんでしたが、参加学生はプログラミング能力を試合の場まで生かし、様々な経験を得られることができました。また、「自由」部門、「課題」部門での発表会にも参加し、プログラミング能力を展開できる様々な実用現場をイメージすることができたと思います。



## 学園祭(祇園祭)

### 学生主事補 佐久間 美紀 (基礎学系 准教授)

11月2日(土)、3日(日)の2日間、本校の学園祭である祇園祭を実施しました。令和初となる今年のテーマは「To Connect ～より良いものに繋げる～」でした。

今年は途中小雨がぱらつく時間帯もありましたが、2日間を通じて約2000組、本校学生・教職員等関係者を含めると4000人以上の多くの方が来場され、祇園祭を楽しんでいただきました。

2日間の祇園祭では、食品企画やお化け屋敷、縁日のような小学生も楽しめるような企画だけでなく、文化部による日頃の研鑽の成果を披露する企画や日頃学んだ知識・技術を生かした専門企画、研究室の公開企画など様々な企画が実施され、高専ならではの学園祭になっていたのではないかと思います。

この2日間を迎えるため、祇園祭実行委員をはじめ各委員会の多くの学生が、昨年度から準備を始め、企画の調整、案内、交通整理、安全衛生などの運営に積極的に参加し、また、全企画に関わる学生が準備や当日の企画運営に尽力したからこそ、大きな事故もなく、大盛況のうちに終わることができました。

祇園祭にご来場・ご協力いただいた全ての方々に御礼を申し上げます。また来年度の祇園祭にも是非ご期待ください。

## 学生の特別表彰者一覧

次の学生の皆さんは、課外活動および学業において優れた成果を挙げた業績により、本校より特別表彰を進呈しました。表彰式は全校集会にて行われ、校長より賞状と副賞が授与されました。

### 平成31年度 優秀学生

機械工学科	5年	笠原 直人
電気電子工学科	5年	石山 拓洋
電子制御工学科	5年	大場 翔太
情報工学科	5年	平間 悠一
環境都市工学科	5年	齋藤 薫

### 第115回工業英検 文部科学大臣賞

情報工学科	4年	三浦 夢生
-------	----	-------

### 第118回工業英検 文部科学大臣賞

機械工学科	4年	若林 正太
-------	----	-------

### 第119回工業英検 文部科学大臣賞

電子制御工学科	3年	大久保 友哉
---------	----	--------

### 第54回全国高等専門学校体育大会

電子制御工学科	5年	眞角 晏奈	柔道競技	女子個人(52kg級)	2位	参考:地区大会1位
機械工学科	4年	高橋 優	陸上競技	男子3000mSC	1位	参考:地区大会1位
情報工学科	3年	島田 悠矢	水泳競技	男子100m自由形	3位	参考:地区大会1位

### 2018高専機構・防災科研協働コンテスト

#### 地域防災力向上チャレンジ最終審査会・優秀賞 (大枝研究室)

代表学生	情報工学科	5年	篠田 拓樹
”	制御・情報システム工学専攻	2年	稲毛 惇人

### 世界遺産検定第34回 1級合格(最高得点) 文部科学大臣賞

環境建設工学専攻	1年	小又 寛也
----------	----	-------

## 担当 丸山 真佐夫 (情報工学科 教授)

サイバーセキュリティ人材育成事業(K-SEC)は、大幅に不足する情報セキュリティ人材育成のための全国高専の取組みです。本校はK-SECの第2ブロック(関東信越+福島・沼津)の拠点校として、各ブロック拠点校やブロック内実践校(小山、福島、群馬)と協力しながら、学内のみならず高専全体のサイバーセキュリティ教育の充実のため、さまざまな活動を行っています。

K-SECでは、①情報系に限らない各工学分野の技術者が持つべきセキュリティ技術(100%の学生が対象)、②情報系技術者としての専門的なセキュリティ技術(全体の約20%が対象)、③セキュリティ専門技術者としての高度な技術(1%未満の学生が対象)の3階層の技術レベルをイメージして、各層向けの教材開発、講習会実施などの事業を展開しています。

①の全学生対象の取組みの一例として、今年度は警察庁関東管区警察局の方を講師にお招きして講演とデモンストレーション「警察におけるサイバー空間の対処」(11/15(金))を開催しました。近年のサイバー犯罪の動向や、サイバー犯罪に用いられた機器の解析方法についての講演、またデモンストレーションでは電子メールに添付された悪意のあるソフトウェアを実行してしまうことによってPCが乗っ取られ、遠隔から自在にPCを操作されてしまうさまを実演していただきました。サイバー犯罪の巧妙さや怖さをリアルに感じる貴重な機会となりました。

②のレベルを対象とするイベントとしては、本校を会場に、

- ・トラコン予備校(6/15(土))
- ・CTFビギナーズ(6/29(土)～30(日))

を開催しました。それぞれ「トラブルシューティングコンテスト」、「セキュリティコンテスト」というセキュリティや情報通信システムに関する知識や実践的な能力を競う全国的な技術イベントへの参加を目指す学生のための勉強会です。本校を含めて全国各地から高専生が参加しました。

また第2ブロックでは年2回「セキュリティ合宿」を開催しています。各高専の教員に加えて企業や警察等から講師を招き、高度なセキュリティ技術を集中的に学ぶ場になっています。今年度第1回は9/26(木)～28(土)の日程で草津セミナーハウス(関東甲信越地区国立大学の共同利用施設)を会場に実施しました。全参加者がセミナーハウスに宿泊し、学校の垣根を越えたチームで課題に取り組むなどして、朝から晩までセキュリティ三昧の3日間を過ごしました。なおセミナーハウスには温泉が引かれており、全国有数の名湯を楽しむというおまけもついていました。

さらに今年度は「SOC」「IoT」の2分野のセキュリティ教育設備を導入します。そのうち「SOC演習設備」は、企業等のコンピュータ・ネットワークに対するサイバー攻撃を検出する「セキュリティオペレーションセンター(SOC)」を模した高度な演習設備(最初に述べた②～③レベル)です。また「IoTセキュリティ実習設備」として、ドローンやロボットカーなど、各学科・学系の専門分野にかかわるIoT機器を導入し、①の専門別セキュリティ教育に活用する計画です。



CTFビギナーズ(2019年6月)



第2ブロックセキュリティ合宿(2019年9月)

## 機械工学科 引率教員 高橋 美喜男

機械工学科4年生は、11月5日から8日にかけて九州地区にて見学旅行を実施しました。1日目の見学先は、日本ビソー(株)長崎製作所でした。日本ビソーでは、ビルの窓清掃用ゴンドラの製造工程などを見学しました。安全性が最も重要になる製品を取り扱う企業の心構えなどについて、非常に学ぶところが多かったと思います。2日目は、自由行動でした。長崎の歴史や文化にふれ、各自充実した内容になったことと思います。3日目は、まず三菱重工業(株)長崎造船所史料館で、日本最古の工作機械や船舶、発電用の大きなタービン、内燃機関を見学しました。学生達は、見学時間が足りないくらい興味深く見学をしていました。そして福岡に移動して太宰府天満宮を参拝しました。

天候にも恵まれ、進路選択の一助となる有意義な見学旅行になったと思います。



## 電気電子工学科 引率教員 飯田 聡子

電気電子工学科の見学旅行では中部・関西方面に行きました。

初日は全日本空輸株式会社の機体メンテナンスセンターにて整備中の機体を間近に見学し、貴重な経験となりました。午後は東京工業大学にて研究室を見学し、本校OBの大学院生からの研究説明や最新の研究設備から、学生は非常に良い刺激を受けていました。

2日目は名古屋の村田機械株式会社犬山事業所にて、CNC旋盤やレーザー加工機を始め、物流を支えるロジティクスオートメーションの制御などを見学し、物流制御技術の高さに感銘を受けた学生も多く見られました。午後は滋賀県のパナソニック株式会社アプライアンス社にて、家電の製造現場を見学し高専生が生産技術等においてどのように活躍しているか等の説明を受け、職種選択についても良い指針を得られたと思います。

見学日はできる限り多くの会社や大学を回ったため、少しタイトな行程となりましたが、多くの刺激と知見が得られたと思います。将来像を思い描きながら進路選択に臨む良いきっかけとなる見学旅行となりました。



## 電子制御工学科 引率教員 泉 源

電子制御工学科は、愛知～京都～大阪と見学旅行を実施しました。一番の心配事であった東京駅集合は、若干のトラブルもありましたが、全員そろって新幹線に乗車することができました。

初日は、村田機械株式会社 犬山事業所を見学させていただきました。自動倉庫や無人搬送車、最新のRFIDなど、トレーサビリティに対応した物流システムを見せていただきました。その後、バスで犬山城を見学しました。工事箇所があり、少し興ざめた感がありましたが、眺望はとても良かったです。

2日目の午前中は、宇治平等院鳳凰堂を見学しました。手持ちの10円玉、1万円札と本物の平等院や鳳凰と写真を撮る学生、御朱印を求めている学生など、普段とは違う一面を見ることができました。宇治での昼食後、大阪の株式会社 国際電気通信基礎技術研究所で見学させていただきました。研究から事業に展開するまでの流れや自律対話型アンドロイドとの対話体験をさせていただきました。

3日目は、グループに分かれて大阪・京都を自由に散策しました。学生達には、見学旅行を通していろいろなものを感じてもらえたらと思います。



## 情報工学科 引率教員 吉澤 陽介

情報工学科は、神戸・大阪を中心とした見学旅行となりました。まずは羽田空港界隈のANA機体メンテナンスセンターの見学をしました。主に航空機の構造(機械工学)、航空機のメンテナンス業務(仕事紹介)、航空業界のブランディング(企画広報・デザイン)について広く学びました。その後、飛行機とバスで神戸ポートタワーを訪れ、その界隈を散策しました。

翌日は、理化学研究所生命機能科学研究センターを見学しました。サイエンスコミュニケーターによる講義(生命科学)、実験室見学を通して実験に用いられるモデル生物や実験設備を見られたこと(研究室体制)、成果物展示見学を通して生命科学に関する研究成果を学べたこと(研究発信・展示デザイン)など、新しい発見の連続でした。その後、カップヌードルミュージアム大阪池田にて、外装パッケージから具材の組み合わせまでオリジナルのカップヌードル製作体験をしました(企画・デザイン)。また、カップヌードルを発明した安藤百福について多くを学ぶこともできました(発明・ベンチャー)。

今回の見学旅行を通して、情報工学中心の視野をさらに広げて、今後の進路活動に活かして欲しいと願っています。



## 環境都市工学科 引率教員 石井 建樹

環境都市工学科では、防災学習を主目的とし、令和元年8月の佐賀豪雨被害痕、長崎の雲仙普賢岳や造船資料館を見学しました。

佐賀では、ボタ山斜面崩壊の爪痕や、平坦な平野での浸水被害範囲の広さに、地域に合わせた防災対策の必要性を感じました。また長崎・雲仙では、資料館や災害遺構を見学し、火砕流後に生じた土石流により埋もれた家屋を目のあたりにし、海岸線にまで及び被害の凄まじさを実感しました。現地では、今もなお、復興工事が進められています。

最後に見学した長崎の造船資料館には、近代産業を支えた技術資料とともに、過去の事故資料も展示されています。安全で安心な技術を作るために、事故・失敗に対する真摯な探究が欠かせないことを知りました。

これらの経験が、自然の猛威や未知な原因が引き起こす事故の可能性など、答えのない事象に対峙する、未来の技術者として踏み出すきっかけになるものと期待しています。



## 令和元年度 第4学年見学旅行 日程一覧

	学科	機械工学科	電気電子工学科	電子制御工学科	情報工学科	環境都市工学科
	引率者	高橋 美喜男 青葉 知弥	飯田 聡子 若葉 陽一	泉 源 麻生 和裕	吉澤 陽介 米村 恵一	石井 建樹 虻川 和紀
11/5(火)	行き先	日本ビニー長崎製作所	ANA機体メンテナンスセンター 東京工業大学	村田機械株式会社 犬山城	ANA機体メンテナンスセンター 神戸メモリアルパーク見学& 神戸タワー等自由散策	ぼた山わんぱく講演遠望 佐賀鉄工所/順天堂病院周辺
11/6(水)	行き先	長崎市内自由行動	ムラテック犬山事業所 パナソニック株式会社アプライ アンス社	宇治平等院鳳凰堂 国際電気通信基礎技術研究 所	理化学研究所生命機能科学 研究センター カップヌードルミュージアム大 阪池田	長崎市内自由行動
11/7(木)	行き先	三菱重工長崎造船所 資料館 太宰府	終日自由行動	終日自由行動	終日自由行動	防災学習/島原火山災害に学ぶ 長崎造船資料館
11/8(金)	行き先	朝食後解散	朝食後解散	朝食後解散	朝食後解散	朝食後解散

# お知らせ

## 保健室より



● 新型コロナウイルス感染症、風邪やインフルエンザ、そしてノロウイルスによる感染性胃腸炎に注意が必要です。

感染症予防の基本は、正しい手洗いです。石鹸をよく泡立てて、トイレの後、食事の前、調理の前後、外出から帰宅した時など、忘れずに行うようにしましょう。

・十分な休養と栄養補給、うがい、咳エチケットを心がけましょう。

・体調が悪い時には登校を控え、医療機関で診察を受けてください。インフルエンザ等、感染症に感染している、またはその疑いがあると診断された場合は、公欠(要診断書等)となります。

● 春休み中は生活のリズムが崩れがちです。毎年春休み明けには、昼夜逆転など、不規則な生活が原因と思われる体調不良の人が多く来室されます。新学期に良いスタートを切れるよう、規則正しい生活を送るようにしましょう!

### <健康づくりのための睡眠指針2014～睡眠12箇条～>

1. 良い睡眠で、からだもこころも健康に。
2. 適度な運動、しっかり朝食、ねむりとめざまめのメリハリを。
3. 良い睡眠は、生活習慣病予防につながります。
4. 睡眠による休養感は、こころの健康に重要です。
5. 年齢や季節に応じて、ひるまの眠気で困らない程度の睡眠を。
6. 良い睡眠のためには、環境づくりも重要です。
7. 若年世代は夜更かしを避けて、体内時計のリズムを保つ。
8. 勤労世代の疲労回復・能率アップに、毎日十分な睡眠を。
9. 熟年世代は朝晩メリハリ、ひるまに適度な運動で良い睡眠。
10. 眠くなってから寝床に入り、起きる時刻は遅らせない。
11. いつもと違う睡眠には、要注意。
12. 眠れない、その苦しみをかかえずに、専門家に相談を。

(健康づくりのための睡眠指針 2014厚生労働省より引用)



## 学生相談室より

学生相談室は、皆さん一人一人が充実した学生生活を送れるようにサポートしていくところです。相談内容については固く秘密を守りますので安心してください。相談室は講義棟A 1階 保健室隣にあります。保護者の方の相談も対応いたします。

☆相談内容としては次のようなことが挙げられます。

- ・学業・進路について
- ・自分の性格や対人関係について
- ・健康について
- ・その他(家庭の事情で悩んでいる、経済的に困っている、恋愛、性、宗教のことで悩んでいる、など)

☆いつ?

- ・学生相談室長及び看護師は、随時
- ・カウンセラー(長期休業期間や試験期間は変更の可能性があります)

愛甲先生

毎週火曜日の10時～17時

毎週木曜日の13時～17時

毎週金曜日の13時～18時

月1回 水曜日の17時～20時

坂本先生

毎週月曜日の12時～16時(R2.4月から)

水口先生

毎週水曜日の12時～17時(R2.4月から)

それぞれ、相談に応じています。

☆相談予約は?

- ・保健室で受け付けています。

電話:0438-30-4036

E-mail:soudan@a.kisarazu.ac.jp



## 教職員の異動 ※敬称略

【転入】10月1日

学生課教務係主任 緑川 真由美 ◀千葉大学

【転出】9月30日

学生課学生係長 本城 高二 ▶千葉大学

## 年度末・年度始めの行事

- 2/22(土)～3/31(火) 学年末休業  
3/19(木) 卒業式・修了式
- 4/ 1(水)～4/ 5(日) 春季休業  
4/ 4(土) 開寮(2年生以上)  
4/ 5(日) 開寮(新入生)  
4/ 6(月) 入学式、新入生保護者懇談会  
4/ 7(火) 始業式、新入生オリエンテーション  
4/ 7(火) 入寮式  
4/ 8(水) 授業開始

## 祝永年勤続(勤続20年)教職員表彰 ※敬称略

人文学系 教授 加藤 達彦

学生課長 伊藤 竜治

## 訃報 ※敬称略

元・土木工学科 教授 山中 傳四郎



独立行政法人国立高等専門学校機構

木更津工業高等専門学校

ホームページ <http://www.kisarazu.ac.jp/>



木更津高専だより第88号 令和2年3月発行

〒292-0041 木更津市清見台東2-11-1

☎0438-30-4000